

八ヶ岳 冬期山行報告

2008年12月27日(土)～29日(月)

メンバー：S48卒 金子道夫先生

M2 只左一也

12月27日：茅野駅⇒(タクシー)⇒桜平1km強手前⇒オーレン小屋⇒夏沢峠⇒オーレン小屋

12月28日：オーレン小屋⇒夏沢峠⇒箕冠山⇒根石山荘(ここで撤退)⇒箕冠山⇒オーレン小屋
⇒峰の松目直下のコル⇒峰の松目⇒峰の松目直下のコル⇒オーレン小屋

12月29日：オーレン小屋⇒夏沢峠⇒硫黄岳⇒赤岩ノ頭⇒峰の松目直下のコル⇒オーレン小屋
⇒桜平⇒唐沢鉱泉入口⇒(タクシー)⇒茅野駅(解散)



1 日目（12 月 27 日）

JR 茅野駅～オーレン小屋（夏沢峠往復）

茅野駅	10:00 発（タクシー）	
河原木場沢の橋	10:30 着	10:40 発
桜平	11:55 着	12:15 発
夏沢鉱泉	12:55 着	13:05 発
オーレン小屋	14:15 着	15:10 発
夏沢峠	15:50 着	16:00 発
オーレン小屋	16:20 着	（冬期小屋泊）

金子先生は特急、私は鈍行での移動だったので、JR 茅野駅で待ち合わせた。駅から八ヶ岳が見えるのだが、稜線は雲に隠れていた。予約しておいたタクシーに乗って桜平へ向かう。雪の状態を見て入るところまで入ってもらうというお願いをしていたが、女性の運転手さんで、耳にはさんだ同僚との会話から想像するにまだ経験が浅かったようで、運転中もしきりに先の道の心配をしていた。唐沢鉱泉入口から歩くことになるかもしれないと思っていたが、桜平の手前 1 キロちょっとのところまでがんばって入ってくれた。



茅野駅から八ヶ岳方面の展望



南八ヶ岳の稜線は雲に隠れていた



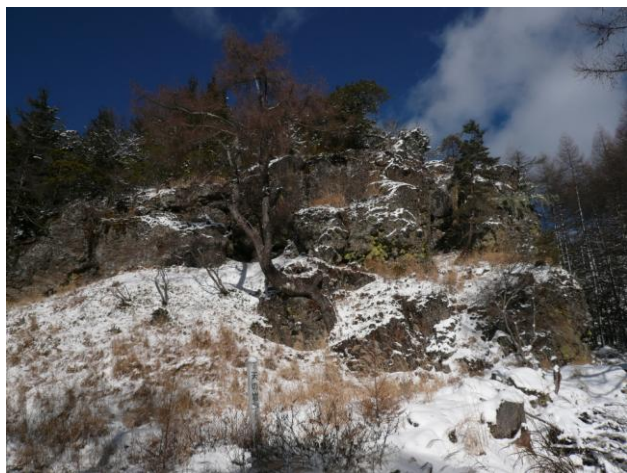
タクシーを降りた地点（河原木場沢にかかる橋）



前日雪が降ったようで、雪の積もった道路が歩きやすい。雪化粧をした周囲の樹林を眺めながら、轍の上を歩いて行くが、天気がよく、周囲の景色もきれいで退屈しなかった。いつものようにきょろきょろ周りの景色を眺めては写真を撮っていたら金子先生からどんどん遅れてしまった。

桜平に着くと、谷の向こうに峰の松目（2567m）が姿を現した。峰の松目は硫黄岳から西に延びる稜線の肩のような感じの山だが、こうしてみるとなかなか立派である。

さらに沢筋の林道を登って行くと夏沢鉱泉に着いた。振り返ると、真っ白な北アルプスが屏風のように連なっている。



桜平。マイカーはここまで入れる。



峰の松目（桜平から）

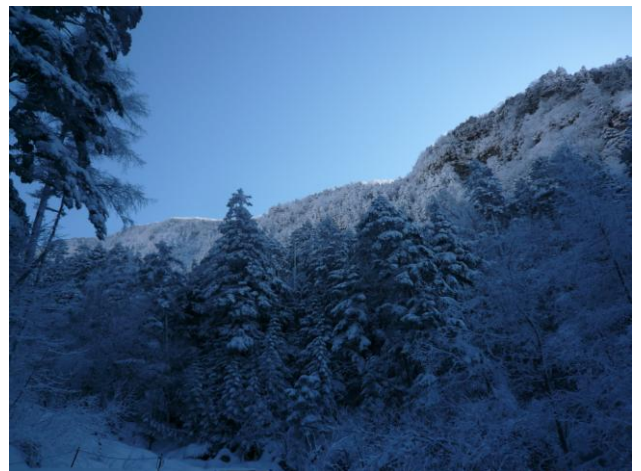


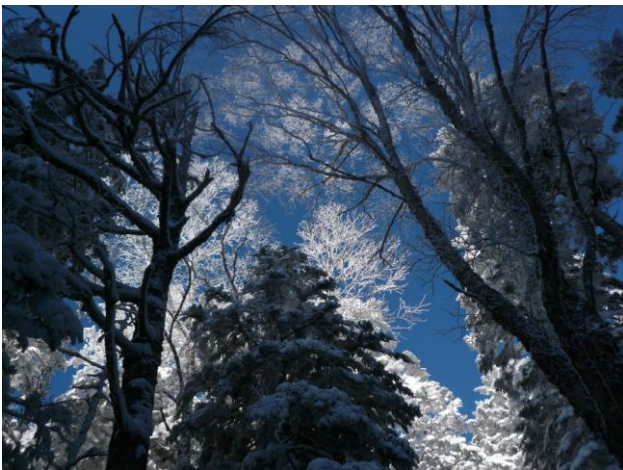
夏沢鉱泉



北アルプス（夏沢鉱泉から）

小休止を取り、オーレン小屋を目指す。ここから道が山道らしくなる。見上げると、上空に少しかかっていた雲がいつのまにか消え、吸い込まれそうな紺碧の空に雪をまとった樹々が映えてとにかく素晴らしい。ついつい立ち止まる回数も多くなってしまう。







硫黄岳



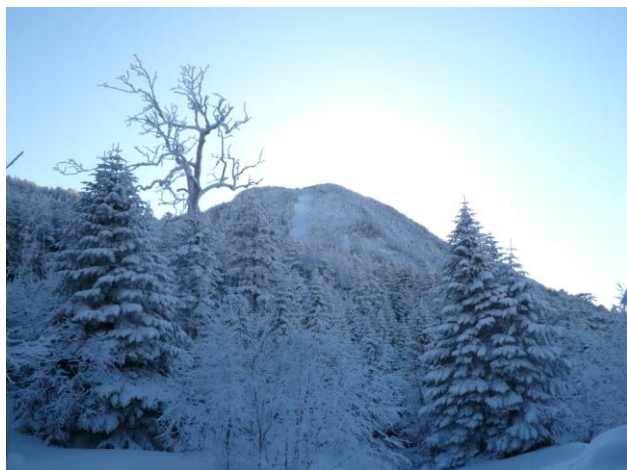
オーレン小屋



オーレン小屋の冬期小屋



2時過ぎにオーレン小屋に到着。計画では幕営の予定だったが、きれいな冬期小屋を開放していたので、利用させていただくことにした。時間が遅かったが、あまりにも天気がいいので、荷物を置いて一休みした後、夏沢峠まで往復することにした。



峰の松目



夏沢峠へ向かう



20 分ほどで夏沢峠に到着。小屋の影にテントを張っている集団がいた。硫黄岳の眺めが素晴らしい。残念ながら樹林にさえぎられて遠くの展望はほとんど得られなかった。少し景色を楽しんだら。小屋に引き返した。

小屋に戻ると、硫黄岳が夕陽に染まっていた。



夏沢峠。小屋の前に幕営している集団がいた。



箕冠山



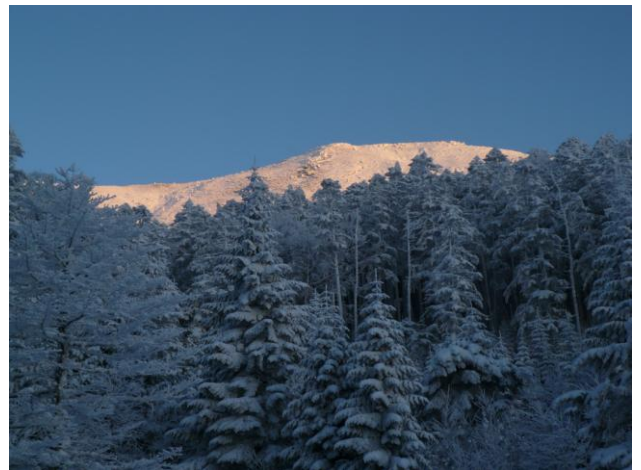
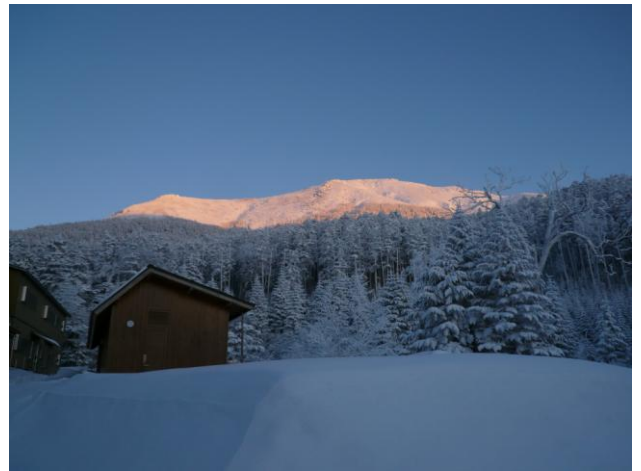
夏沢峠から東の眺め



御嶽山



硫黄岳



小屋に戻ると、硫黄岳が夕陽に染まっていた